

H30 年度 Z 連携研修会 意見交換まとめ

Z 連携について

- ・居宅介護支援事業所は利用しているところが多い。
- ・退院時、ケアマネだけでなく診療所の医師や福祉用具のともやさくらメディカルに送ることもある。
- ・管理者になるが操作ミスで出ないことがある。
- ・Z 連携を使用する施設少ない。
- ・市役所ではセキュリティがきびしくて中々使えない。
- ・結局連携に使えらなくても、とりあえず、データを打ち込まないといけないから労力がある。
- ・3 日以内に入院時の情報を送るときに使うと良いか？
- ・普段使っていないと使い辛い（操作が覚えられない）。
- ・連携していないからどんなものか分からないけれど、うまくいっているのを聞くと良いような感じもする。
- ・使っているけれど連携はまだこれからという感じ。
- ・Z 連携でリハビリの依頼をすることがあり、助かっている。
- ・関連付けしている他事業所の人ちゃんと見てくれているか不安。便利。退院時には紙ベースでもらっているが、Z 連携でもらえればありがたい。

web 会議について

- ・4 病院のテレビ会議に施設や事業所も入っていけたら。月に1回担当者が顔が見れる。
- ・月毎に web 会議の担当施設を決めて広めていけたらいいか。
- ・4 病院はテーマを決めてやっている。サービス事業者と一緒にやるとテーマが変わってくるか。
- ・施設が病院に相談したいことがあれば web 会議を利用できないか？
- ・以前より画像もきれいではあるが、人数が多いと難しい。
- ・人数が多いとカメラが一つでは、しゃべる人の顔も見えないので会話が中々成立しない。
- ・顔を下に向けて話すとき声を広げにくい。
- ・携帯でも使えるが、wifi 環境がないとデータ通信料がかかるかも？
- ・4 病院の情報交換が出来て、空きベッドとかの情報なども共有できた。
- ・福祉用具でももっと活用したい。担当者会議等にも。
- ・今後も認知症支援チーム会議でテレビ会議を利用したい。
- ・web 会議はまだ市内だと使われにくい。
- ・パソコンで入退院の情報共有書を送るのに、タイムラグ無しでいけるなら、そこを活用したい。
- ・病院で担当者会議が出来なくて自宅でしたこともあった。医師やリハビリ等も参加してもらえた。医師がフレンドリーに対応してくれ安心した。

H30 年度 Z 連携研修会 意見交換まとめ

- ・リハビリ的なことなど、文書だけではうまく伝わらないことがあるので、テレビ会議は有効なのでは？
- ・テレビ会議いい。地域連携室に見に行く。
- ・施設で会議に参加できれば、業務負担軽減につながる。
- ・予定の関係で出られないときに知られるとうれしい。目で見える情報共有をして、住宅改修に関わりたい。

連携について

- ・病院同志は古い共有書を使用している。
 - ・ネット環境あれば、アイパッド貸し出してもらえるが、通常業務で精一杯。
 - ・訪問診療（歯科）は担当していないと突然訪問しても困る。
 - ・病院だと歯科医がスムーズに入れるが在宅だと家の中に入っていくことに抵抗がある方もいる。訪問歯科診療は道具が大掛かりになる。
 - ・施設間同志の会議はあるのか？お互いに顔が見えるのか？
 - ・情報共有書が改訂するたびに電子カルテのバージョンアップが大変。
 - ・透析専門なので、連携があまりとれていない。スタッフ間はノートやり取りしている
 - ・例えば在宅での様子を動画で取っておくことが出来れば良いと思う。
 - ・業務の中でいつもパソコンを使っていない。
 - ・連携には医師が入っているが実際には仲間はずれ。情報共有書みたことない。知らないことだらけ。
 - ・メールは残るのでしんどいことあり。
 - ・患者さんに受診暦や薬変更聞いても分からないことが多い。連携すると情報すぐ得られて楽。薬の確認、受診病院の変更など。
- ※特に薬局との連携。
- ・全員が関わっているわけではない。
 - ・服用している薬の情報が今は患者さん（お薬手帳、口頭）頼り、連携で処方情報が分かれば助かる。